

サマースクールの保険は、毎年加入しております。
また会館で起こった事故に関しては、保険の補償額（今年度は1億円）が上限です。

ただし万が一不慮の事故などで怪我や病気になった場合、教室までの行き帰りは保険対象外です。

熱中症・置き去り迷子・工作時のはさみ等でのケガ・昼食準備時のキッチンシザースでのケガは、毎日起こりうる事故ですので、念入りに監督しております。

・熱中症

空調を適度な温度に設定しているのはもちろん、お茶を常設し自由に飲むことができます。また、機会あるごとに「お茶飲んでね～」と呼びかけ、状況を見て、適宜塩分チャージタブレットを配布しています。

・置き去り迷子

遠足時は終日、教室から短距離（直線300mほど）の公園に行く際でも、ビブスを装着し一目で行動が見えるように、一列で移動。

出発時と到着時の2回に分けて点呼し、全員の到着を確認。



万が一その目を外れて迷子になってしまった場合にも、連絡方法を確立できるように、名札の一部に紫明倶楽部への電話番号を印字し、発見者からの連絡を受けられるようにしています。

でんじろう		
1年	紫明	デンジロウ
		でんじろう
8/1・7		
<small>この名札を付けたお子様が迷子の場合は090-7268-6261までご連絡をお願い致します。NPO法人紫明倶楽部</small>		

・工作时、昼食時のはさみ使用

基本的に小学校でも使用されているはずなので、使わせています。

ただし、切り方・具材（工材）側の持ち方をしっかり伝えていきます。

カッターは出来るだけ使用しませんが、使用する工作の場合は高学年（5～6年生や中学生）にその任を一括で任せ、大人スタッフの指導の下、適切に使用しています。

ほかにもふざけてケガが起きないように適宜注意しながらも、楽しいスクールになるように優しく愛情のこもった対応を心がけています。

しかし無理に心がけなくても、子どもというものは可愛く素直で、多くの事を学んでくれる人類の宝物として、自然と愛情を持って接していくこととなります。

我々スタッフも、お預かりしている大切な子どもさんから、たくさんのもを受け取っています。

そんな素晴らしいスクールですので、何かの事故で無くなってしまわないよう、保護者の皆様とは連携をしながら、これからも安全に楽しい生活を行ってまいります。

安全対策についてのご意見やご質問などは、気軽にお申し出ください。

サマースクールの安全対策

・名札のお話

名札はニックネームをスタッフや子ども同士で覚えるための大切なコミュニケーションツールです。また、迷子の時に電話番号を記載してる「お守り」でもあります。

名札のひも部分には、力がかかると外れる安全装置が



ありますので、万一首などにかかってもすぐに外れる構造になっています。